

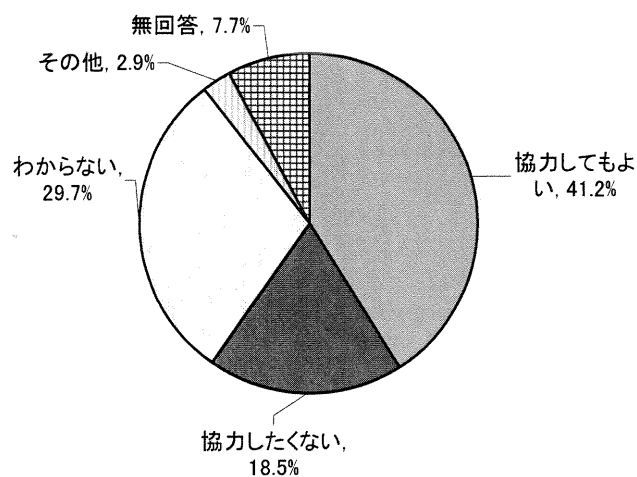
2) 寄付金の支払いについて

① 寄付金支払いの意向

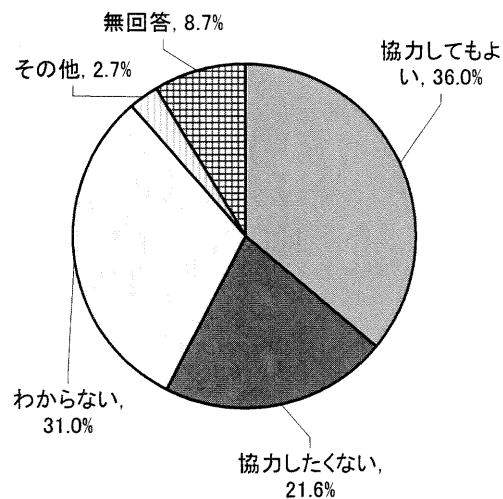
- ・ いすみ鉄道の存続に向けた寄付金の支払いには、回答者の約41%が賛同。
- ・ バス代替の運行に向けた寄付金の支払いには、回答者の約36%が賛同。
- ・ 「協力したくない」と回答した人はそれぞれ約2割。

	鉄道存続		バス代替	
	回答数	構成比	回答数	構成比
協力してもよい	172	41.2%	145	36.0%
協力したくない	77	18.5%	87	21.6%
わからない	124	29.7%	125	31.0%
その他	12	2.9%	11	2.7%
無回答	32	7.7%	35	8.7%
合計	417	100.0%	403	100.0%

鉄道存続



バス代替



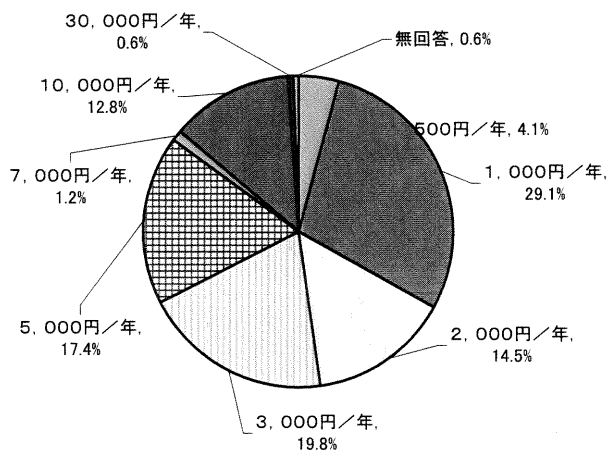
②支払意思額

- ・いすみ鉄道の存続に向けた寄付金は、1,000円/年とする回答が約3割。
- ・バス代替の運行に向けた寄付金についても、いすみ鉄道存続の場合と同様、1,000円/年とする回答が約3割。
- ・寄付金の上限は、鉄道存続、バス代替のどちらも10,000円/年程度とみられる。

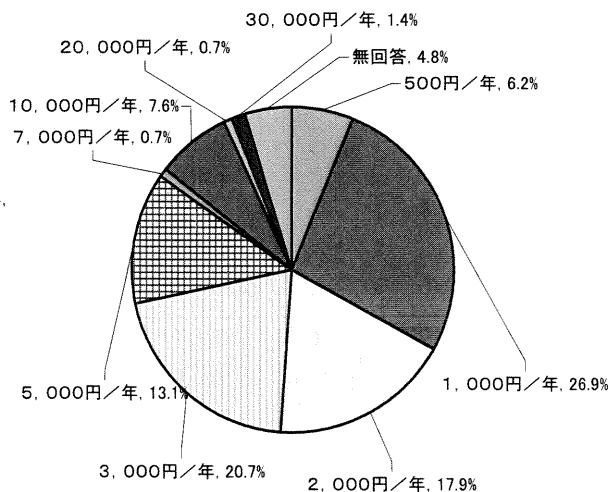
	鉄道存続		バス代替	
	回答数	構成比	回答数	構成比
500円/年	7	4.1%	9	6.2%
1,000円/年	50	29.1%	39	26.9%
2,000円/年	25	14.5%	26	17.9%
3,000円/年	34	19.8%	30	20.7%
5,000円/年	30	17.4%	19	13.1%
7,000円/年	2	1.2%	1	0.7%
10,000円/年	22	12.8%	11	7.6%
20,000円/年	0	0.0%	1	0.7%
30,000円/年	1	0.6%	2	1.4%
50,000円/年	0	0.0%	0	0.0%
50,000円/年以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	0.6%	7	4.8%
合計	172	100.0%	145	100.0%

※寄付金の支払意思を示した回答者のみの数

鉄道存続



バス代替



③支払拒否理由

- ・いすみ鉄道の存続に向けた寄付金の支払いに抵抗を示した回答者も、「いすみ鉄道を存続させることに必要性を感じない」を理由として挙げる比率は少ない。
- ・バス代替の運行に向けた寄付金の支払いに抵抗を示した回答者についても同様であり、何らかの交通手段の担保は必要であると考えている。

	鉄道存続	
	回答数	構成比
いすみ鉄道を存続させることに必要性を感じないから	50	24.8%
いすみ鉄道の必要性は感じるが、寄付金を支払ってまで残す必要はないと思うから(いすみ鉄道が自らの経営努力で存続させるべき)	102	50.5%
いすみ鉄道の必要性は感じるが、存続に向けた費用は、運賃の値上げなどにより利用者が全額負担すべきだと思うから	31	15.3%
その他	17	8.4%
無回答	2	1.0%
合計	202	100.0%

	バス代替	
	回答数	構成比
代替バスを運行させることに必要性を感じないから	20	9.4%
代替バスではいすみ鉄道の機能を補うことは不可能だと思うから	12	5.7%
代替バス運行の必要性は感じるが、寄付金を支払ってまで運行する必要はないと思うから	55	25.9%
代替バス運行の必要性は感じるが、代替バス運行に必要な費用は、利用者が運賃で全額負担すべきだと思うから	90	42.5%
その他	20	9.4%
無回答	15	7.1%
合計	212	100.0%

※寄付金の支払いを拒否した回答者のみの数

